

会報【第44号】

NPO法人
コミュニティ時津
COMMUNITY TOGITU

平成27年4月発行

活動報告(平成27年1月～3月)

内 容

時津港のごみ拾い

～海（船）と陸から780 ㌔のごみを回収～

カンボジア支援

～自立支援“灌漑設備”布設工事がほぼ完了～ 報告者：友岡 純一 理事

～長崎市立 小榊小学校の皆さんから支援物資が届く～

協働事業 放課後子ども教室

～“とぎついただきますクッキング教室”が終了～

～新企画 「とぎつサタデールーム」の参加者募集～

寄 稿

～備えあれば憂いなし 我が家の防災対策～ 寄稿者：ハンドルネーム「duke」さん

当面の予定

・6月14日（日）、平成27年 通常総会

・8月30日（日）、とぎつ夏まつりに出店予定

ホームページ掲載記事リスト（1月～3月 ホームページ6件 ブログ20件）

活 動 の 詳 細

★ 時津港のごみ拾い

～海（船）と陸から780 ㌔のごみを回収～



ごみを荷揚げする海上班



沿岸の漂着ごみを拾う陸上班



回収したごみの一部

3月14日（土）に実施した今年度最後の行事「時津港（ウォーターフロント公園）沿岸のごみ拾い」に、105の方にご参加者いた

だき、午前9時から11時までの2時間で、海（船）と陸から780 ㌔のごみを回収しました。

回収ごみは、ペットボトルやジュース缶、レジ袋、菓子袋、食品包装など、各家庭できちんと分別すれば、資源ごみとしてリサイクルできるものがほとんどでした。また、喫煙家のポイ捨てと思われる煙草の吸殻が多いのも毎回のことです。

壱岐、対馬などの離島は、海外からの漂着ごみ対策に頭を痛めています。大村湾は閉鎖性の高い海で、外海から流入するごみはありません。川からの流れ込みを含め、ほとんどが県内住民のものと考えられます。このような背景もあって今回は特に、町内の皆さんにこの取り組みを知っていただき、ご参加いただくためと参加できなくても環境に対する意識を高めていただくために、ごみ拾いのチラシを時津町の全世帯（9,340世帯）に、配布させていただきました。

年々、参加者が増え環境意識の高まりを感じています。参加者の中には「久留里からごみを拾いながら来た」と、杖をついて参加された方や「毎日の散歩コースだから感謝の気

持ちで参加した」と左底から来られた高齢者の方もおられました。

時津港のごみ拾いは毎年実施し、今回が11回目です。昨年7月の海の日（7月21日）の記念式典で、海事功労者等の表彰規定「海をきれいにするため、港内、海浜等の環境整備に概ね6年以上尽力され、港内、海浜の美化活動または啓もう活動（展示等）に貢献した者」という分野で、九州地方整備局長表彰を受けました。この受章は、これまでご参加いただいた皆さんのものとして、主催者あいさつの中で紹介させていただきました。

今回、ご参加いただいたのは、一般参加の地域住民の方や役場職員、大村湾漁協、西そごぎ商工会、三菱電機、十八銀行時津支店、親和銀行時津支店、ケンコーホーム、別所組、啓正会（モンサン）、春回会（長崎北病院）、イオン時津店チアーズクラブの皆さんでした。

年度末のお忙しい中、ご参加いただき誠にありがとうございました。

★ カンボジア支援

～自立支援“灌漑設備”布設工事がほぼ完了～

報告者：友岡 純一 理事



乾季でも枯渇しない川から取水



揚水ポンプの据え付け作業



水路に水が流れる（左端が友岡氏）

今年2月、カンボジア支援事業の一つ“灌漑（かんがい）設備”の布設状況を確認に行き、中断していた取水設備の取り付け工事を、はからずも指導してきました。

この事業は、年間を通じて農作業ができるようにするために、乾季でも水が枯れない川から10メートルの高さまで水を汲み上げて、

延長5㍎の水路から10ヘクタールの土地（畑）に水を供給するための工事です。この工事が完成すると、各人の畑の横まで水が来るので、それぞれの家族が消費する野菜程度は、十分に採れるようになります。

工事現場は、機械で掘削された水路は完成していましたが、ポンプで水を汲み上げて水

路に流すようにする工事のところで、止まっていた。

調べてみると、支援品のポンプは購入したまま村長宅にあり、使われた形跡はありません。使えるようにしようということになり「今から据え付けようか・・・」という、ほんの小雨なのに「雨だから今日は無理だ、明日だ」という。

翌日、午前中の予定を済ませて現地へ行くと何も準備されていない。さすがに堪忍袋の緒が切れて「こんな状態ならもうポンプは引き上げる」というと、ようやくポンプを現場に運ぶ準備に取り掛かりましたが、トラクターやトラックは、いずれも持ち主が不在とか故障で使えない、バイクで牽引するリヤカーを準備したものの、ポンプがリヤカーよりも大きくて乗らない。それから大き目のリヤカーに取り替えて、ようやく川まで運ぶことができました。

その翌日になって今度は、ホースが足りないという。足りない分のホースを取り寄せて3時間後にポンプを起動し、ようやく水路に水を流すことができました。ただこれだけの作業が3日掛かりでした。

今後は水揚げポンプの運転・管理・保全などが、課題となると思われますが「NPO 法人テラ・ルネッサンス」の現地職員 江角氏に月に1回程度、様子を見ていただくことにしました。

なお、畑に蒔(ま)く野菜の種は、日本の種子では現地の気候(猛暑)に合わず、発芽しないそうです。

その他にもいろいろなことがありました。今働き手になっている人たちが子どものころ、最も内戦がひどく、字が読めない人、計算ができない人が多いそうです。キリスト教の布教が目的とは思いますが、宣教師が小さな集会場を造ってくれていて、夜に読み書きや簡単な計算を教えています。その集会場に、これまでと同じ太陽光発電(12V 20W)を設置してきました。

屈託のない子どもたちの笑いもありました。カンボジアはフランスの植民地だった影響で、フランスパンが大好きです。1本10円のフランスパンをお土産に持って行き、半分ずつ渡すと、子どもたちは大喜びでした。

たまたま立命館大学の学生(男3人 女7人)が、ボランティア活動に来ており、彼等が持っていたタオルを現地のおばちゃんが欲しそうにしていました。「地域のお母さんたちにはタオルが喜ばれるよ、1枚の布がとても貴重なのです。次はタオルを持って来てあげたら」とアドバイスをしました。

今回は意外なところで意外な人たちとの交流がありました。このような若者たちの活動にも期待感が広がりました。

友岡 純一

～長崎市立 小榊小学校の皆さんから支援物資が届く～



支援品を渡す中村先生(左) 掛けて集めた鉛筆やノート、消しゴムなど 931 点の文具が「カ

長崎市立 小榊小学校 6 年生(担任 中村 修先生)のグループが、児童や保護者に呼び

ンボジアの子どもたちへ」と、当法人に託されました。

1月31日(土)午前11時30分、とぎつカナリーホールで、児童代表者からのメッセージと一緒に支援品を受け取りました。子どもからのメッセージには支援品を集めるに至った経緯(動機)やカンボジアの恵まれない子

もたちへの思いが綴られています。

預かった文具類は、他の支援品と一緒に船便で送り、当法人の支援訪問団がカンボジアの子どもたちに、現地で直に手渡します。

協働事業

★ 放課後 子ども教室

～ “とぎついただきますクッキング教室” が終了～

“とぎついただきますクッキング教室”は、今年度をもって終了します。

当法人設立の翌年（平成17年）に、子どもの居場所づくり実行委員会（青山 泰 会長）を立ち上げ、町内4つの小学校の3～6年生を対象に希望者を募り、エコクッキングと環境について学ぶことを目的に10年間続けてまいりました。教室の卒業生には、既に、成人式を迎えた子がいます。また、この教室がスタートした年に生まれた子は3年生で、今年は教室の一員として参加しました。なお、この教室のスタッフは、当法人会員と長崎大学と長崎外国語大学の学生さんが務めました。



卒業試験を頑張る

この10年間、調理実習では「ご飯とみそ汁が作れるようになる」を基本理念に、毎回、違う料理にチャレンジしました。野外教室では「大村湾クルージング」や「さだまさしの詩島探検」「崎野公園でのデイキャンプ（バーベキュー）」「佐世保の海キララ見学」などで、環境についての勉強や野外体験もしました。今年の野外教室は「浦郷公民館での“大村湾と遊ぼう”」と「長崎ペンギン水族館見学」「子々川郷 中山菜園での収穫体験」でした。

最終日の料理メニューは、ご飯とみそ汁、根

文房具に託された小桝小学校の児童の気持ちをできるだけお伝えできるよう、大切にお届けします。

ありがとうございました。

野菜のカレー、いりこと昆布のつくだ煮です。卒業試験も兼ねて大人は手出しせずに、後片付けまで子どもに任せました。この日は、保護者にもご参加いただき、全員で子どもが作った料理で会食



会食後 1年の振り返り



大学生から卒業証書授与

した料理で会食をしました。食事後は、DVDで1年を振り返り卒業証書を授与して、子どもの感想発表、保護者から家庭での子どもの様子などを述べてもらい、スタッフが子どもたちへメッセージを送り

10年間のクッキング教室の幕を閉じました。

保護者からは「3年生になる下の子どももお願いするつもりでいた」など今年度で終わる教室を惜しむ声や「3人の子どもがお世話になったが、家でよく手伝いするようになった」「子どもとのコミュニケーションの場が増えた」「エコクッキングについて子どもから教えられることが多い」などの声が聞かれた。

長い間のご支援、ご協力ありがとうございました。

～新企画 「とぎつサタデールーム」の参加者募集～

「子どもの居場所づくり実行委員会」の代表が、青山 泰から田窪 幸男に交代し、新年度から時津町内4つの小学校の3～6年生 約50人を対象に、毎月第2土曜日（年10回）の午前9時から正午までの2時間、時津公民館とカナリーホールを会場に「とぎつサタデールーム」（土曜教室）を年10回開催します。

この事業では、地域の中で学ぶことを通して、いかなる状況でも逞しく「生きる」ことができる子どもたちを育成することを目的とし

ています。また、身近なお兄さん、お姉さんである大学生から祖父母までの幅広い年代のスタッフが関わり、さまざまな分野の学習や昨今忘れがちな季節ごとの文化などを一緒に学ぶことで、子どもたちの知的好奇心そのものを刺激すると同時に、英語や苦手な教科を学習する時間を設け、子どもの学習意欲を高めていきます。

学校の新学期が始まってから参加者を募集し、5月スタートの予定で、準備しています。

★ 寄稿

～備えあれば憂いなし 我が家の防災対策～

神戸淡路大震災から20年、東日本大震災から4年を過ぎ、防災意識が薄れないよう二つの震災発生の日と9月1日の防災の日の最低年3回は、防災用品と食料備蓄の棚卸しを実施しています。

日頃心掛けていることは、寝室にはダンス、本棚は設置しないようにしています。枕元（手の届く1m以内）には厚底スリッパ、懐中電灯（ヘッドランプ）、携帯ラジオ（ワンセグTV音声、AM/FM）、軍手等を置いています。特に、神戸の先輩のアドバイスで厚底スリッパを備えています。普通のスリッパでは落下物（硝子の破片）で足が血まみれになり行動力が半減したそうです。

東日本大震災の被災者の経験談から冬期には、対流型の灯油ストーブが暖房、照明、煮炊きに有用だったそうです。そこで我が家でも2年前からファン式灯油ストーブは知人に譲って対流型にしました。今冬は寒い日が続きましたので、百円ショップで購入した土鍋は、焼き芋作りに活躍しました。特別な防災用品は揃えずに、日頃使っているレジャー用品（釣り用、山歩き用）を有用しています。

寄稿者：ハンドルネーム「duke」さん



キャンドルカバーはリユース品

写真のコーヒーマーサーバーは、底がひび割れたもののリユースです。取っ手付き、風にも強いので重宝してい

ます。専用の防災ローソク（約300円位）が市販されていますが、風防がありませんので耐熱性のコーヒーマーでも良いでしょう。中に入れるローソクは仏事用の無香性のものを使っています。普段は、クリスマスイヴ、原爆の日、キャンドルナイトでも使用しています。

災害時には通信規制がある携帯電話は当てにしておりません。それと停電を伴う災害時にはIP電話は使えません。そこで、災害時優先電話扱いになる公衆電話用に、空き缶に10円硬貨を用意しています、缶コーヒーで約160枚入ります。

災害用伝言ダイヤル「171」の利用と家族、親類縁者、友人知人を3つのグループに分け、予めお願いしている人へ伝言をお願いすることにしています。

～duke～

当面の予定


- ◎ 6月14日（日）、平成27年 通常総会
- ◎ 8月30日（日）、とぎつ夏まつりに出店予定

ホームページ

★ ホームページ掲載記事リスト（1月～3月 ホームページ6件 ブログ20件） 情報満載のホームページも開いてみよう！

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 時津港沿岸のごみ拾い | 4. 時津町 成人式（1月11日） |
| 2. “クッキング教室” 最終回 | 5. カナリー映画祭 |
| 3. 時津港沿岸のごみ拾いの参加ご案内 | 6. 会報43号（コミュニティ時津） |

ホームページアドレス：<http://www.togitu.org>

ブログへは当法人のホームページのトップページからアクセスできます。
《ブログ入口  **Go!**》という表示があります、**Go!** をクリックすると開きます。

★ 会員の皆さんへ

4月1日から新年度（平成27年度）に入りました。年会費は年度初めに、お納めいただくようお願い申し上げます。納入方法は、下記預金口座にお振込みいただくか、当法人の理事にお渡ししてください。

十八銀行時津支店	普通 1 9 1 9 7 3	} 口座名： NPO 法人コミュニティ時津
親和銀行時津支店	普通 2 5 7 5 9 1 9	

※ ご注意ください

年度途中（9月末と12月末）のチェックで、年会費の納入確認ができなかった方には、10月と1月発行の会報を送付するときに「年会費納入のご案内」（お願い）を同封させていただきます。納入が済んでいる方には案内状（お願い）を送付しませんので、納入し二重払いにならないようご注意ください。

もし、行き違いなどがありましたらご容赦のほど、よろしくお願ひいたします。

 NPO 法人
コミュニティ時津

発行元：NPO 法人 コミュニティ時津
〒851-2102 長崎県西彼杵郡時津町浜田郷 110 番地 3
Tel/Fax：095-882-2408 e-mail commutogi@ngs1.cncm.ne.jp
URL <http://www.togitu.org>